

迎春
1986 元旦



広報

ひがしゆり

新年

畠山亮二郎書



町民のみなさん あけましておめでとうございます。

町政を担当して、三たび目の輝やかしい新年を迎えました。新しい町づくりへの情熱を燃やし、決意を新たに、新しい年のスタートを切りました。

昨年度は、町村合併30周年。町政飛躍のための、記念すべき節目の年でありました。昨年は、「東由利町開発基本構想」を策定して、今後10年間にわたる行政の基本方針を示し、飛躍的發展を目ざした行政施策と、未来図を明らかにしました。

さて、私は就任以来、「言行一致」と「積極行政」をうたい、これを着実に実践してまいりました。ふりかえりますと、その第1弾として、59年から60年にかけては、

「東由利町躍進の基礎の年——企業誘致実現の年」と位置づけて、最大の公約であった企業誘致を実現し、若者の職場づくりに奔走しました。

その第2弾として、60年から本年にかけては、「福祉の町づくりの年」と位置づけ、高齢化社会に対応する基盤づくりの一環である老人福祉施設「特別養護老人ホーム」の建設に全力を尽くし、本年4月から運営される運びとなりました。さて、今年は第3弾として、「町民の健康づくり——健康増進施設

建設の年」と位置づけて、町民体育館の建設とテニスコートの建設準備に、全力を尽くしたいと存じます。明るい町づくりと、町の発展の基礎は、町民の健康増進が第一と考えられるからであります。

私が就任して以来、一貫して実施してまいりましたこれらの行政は、すべて、町民の期待と強い要望にこたえるための実践であるとともに、私の人生哲学である「常に前向きな姿勢」の実現であります。そしてまた、一昨年の町制施行記念式典の日に制定した、町民憲章

の実践でもあります。

私は、常日頃から、町づくりに、未来を描いた飛躍のための構図が必要であると考え、そして一貫した政治理念を基礎にしなければならぬと考えております。

いま、東由利町は、21世紀にむけた新しい町づくりが着実に進められています。前述した第1弾から第3弾に至るこれらの行政施策は、すべて21世紀の未来に向けられたものであり、——「明るく住みよい うるおいと活力あふれる町づくり」——、つまり、東由利

町の躍進と明るい町づくり第3年 ——基礎づくり第3弾、体育施設の建設——

町長 畠山 亮二郎



畠山町長

町開発基本構想に基づくもので、東由利町発展の、行政構図に基づいて進められているものであります。今年も、地方自治にとつては、行財政ともに前年以上に厳しい年になるうとしております。しかし、このように厳しい情勢にあるときこそ、行政力を発揮できる絶好の機会と心得ており、やりがいを感じ、ファイトを燃やしております。——他町に追いつけ、追い越せ——これが、私の職員に対する日常の「檄」であり、至上命令です。

※ 今年、町民体育館の建設、テニスコート建設にむけて、全力を集中するほか、袖山地区多目的集会施設の建設、みどり保育園新改築、国道107号線宿工区の着工、団体営農道坪倉線の新規採掘着工、団体営農道深山八塩ダム線の新規採掘着工、地籍調査事業の新規着手等々、新規事業が目白押しに予定されており、一段と飛躍の年になるうとしております。

私は、「——町政は町民とともにあり——町民の声を町政に——」を行政の基本として取り組み、これを実践してまいりました。行政は、ことばではなく、実行が大事であることを心得ており、今年も、町の発展のために最善を尽くし、いかなる努力も惜しまない覚悟です。

私のモットー「誠実・清潔・実行」を旨として、今年も精いっぱいがんばりますので、これまで同様、町民各層各位の、一層のご指導とご協力を心からお願い申し上げます。あけ、新年のご挨拶といたします。

謹賀



新年おめでとうございます。

昨年は天候もまずまずながら、むしろみなさんの絶え間ない努力の結果、米も葉たばこも史上最高の豊作となりました。心からお喜び申し上げます。また、長い間低迷していた畜産もようやく明るい見通しがたつてきました。出羽丘陵開発事業等を含めて、今後とも畜産をわが町の中核産業として名実ともに定着させてまいりたいと存じます。

先ごろ、国勢調査が実施されましたが、町の人口はついに6千人を割りました。最高が昭和30年、下郷・玉米村合併のころで9748人、その後の社会状況の変化に伴い減少の一途をたどった訳です。原因はともかく、もうこれ以上減らしてはなりません。



長谷山議長

活力ある町政の実現を指し

—働く場所と人づくりを重点—

議長 長谷山 二郎

今わが町で大きい問題は何か、二点ほどにしぼって選ぶとすれば、まず一つは、これ以上人を減らさないこと、つまり若者のUターン、乃ほ町内定着の工夫ということでしょう。若者が喜んで住める町、その基本は何んとしても働く場の確保です。働く場があれば人が集まります。楽しい施設もレクリエーションも生まれます。嫁も婿も来る町になります。

もう一つは、高齢化社会にどう取り組むかということです。今は、寿命の伸びに行政が追いついてい

けないといっているほど問題が山積んでいます。本町では特別養護老人ホームを開設して、寝たきりや一人暮らしの老人の対策にあたります。大変な前進ですが、これで万事解決という訳にはいきません。

厚生省は「人生80年型社会懇談会」を設けて、80年時代のあり方を検討していますが、私は、結局はマメで働いて、そして老後は子や孫の世話になって楽しく暮す、昔からの家族社会が一番いいのではないかと思われてなりません。正月には祖父母、父母、息子夫

婦に孫たちが手造りのお膳を囲む家族団らんの姿からは、老後の不安も子供の非行も起こるはずもなかったのではないかと。

さて、今年は町民体育館の建設を始め、懸案の諸問題が目白押しです。何をやるべきか、何をやらざるべきか、議会人として町の将来をあらゆる確な判断をせまられていきます。未来につながるこの一年、一生懸命頑張ってください。町民の皆さんの率直なご意見を期待申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

今年は寅年

「虎は千里を行って、千里を帰る」という諺があります。一般には、勢いの盛んなことゝの例えとして用いられますが、もう一つ別の解釈があるようです。さて、その虎は何をしに千里の道をあわてて帰るのでしょうか。実は、虎は自分の子供のことが心配で戻るのだといわれています。恐ろしいものの代表のように言われている虎ですが、大変に子供を大切にするのでそうです。『虎の子』と言う言葉もこのあたりからきたのでしょう。

虎は日本には生息しないにもかかわらず、7世紀までに書かれた日本書記にはすでにその名が出ています。また、虎に関する故事、諺が伝えられ、いまでも広く知られています。

たとえば、日ごろなんとなく使う『虎視たんたん(眈眈)』をはじめ、『虎の威をかる狐』、『虎の尾をふむ』、『虎口をのがれる』などいろいろあります。いずれも虎が強いものの、危険なものとして登場しています。

しかし、最近では乱伐や焼畑農業によって熱帯雨林が減少し、森林に棲む虎の生存も脅かされています。本当に恐ろしいのは、虎よりも人間の所業だということではないでしょうか。

虎年を契機に自然保護の大切さをもう一度みんなで考えたいものです。 (古事ことわざ辞典参照・東京堂出版)

東由利

新春座談会

町の中に灯りが少なく寂しい…

雪があまり多いのでびっくり…

道路の整備されている町…

出稼ぎで冬は人がいない町…

学校の整備におどろき…

出席者の
町のイメージ

司会 みなさんにはお忙しいところお集りをいただきありがとうございます。ございました。

今日は、町外から本町に嫁がれた方、また、町外から本町に転入され仕事をされている方、そして、かつて町外で生活し現在Uターンされている方の中から、代表としてみなさんにお集りをいただき、「私たちの見た東由利」というテーマで、これからの町づくりはどうあるべきかについて話し合ってくださいことにします。

まず始めに、町長からあいさつをお願いします。

町長 とかく、私たち町政をあずかるものは「井の中の蛙大海を知らず」で町政を進めていることも無きにしも有らずで、今日は、本町とは違う土地で生まれわが町

にこられた方、また、長い間町を離れて生活し、外からふるさとを見つめ町に戻ってこられた方に、東由利町を診断していただき、今後の町づくりに生かしたいということから、「新春座談会」という形でこの会をもった次第です。

みなさんの率直な意見、提言をぜひお聞かせ願います。

司会 それでは、自己紹介を兼ねまして、本町の印象などをお聞かせ願いたいと存じます。

小野 昭和58年の秋に北海道の札幌市から嫁いできた蔵新田の小野です。まだ2年ぐらいいしかこちらでの生活体験はないんですけど、雪に関しては札幌と同じぐらい降るので別に驚きませんでしたし、寒さもむしろこちらの方が幾分暖かいように感じます。

過疎…出稼ぎ…後継者不足…など、古くて新しい問題を抱えながらも、新しい町づくりに向って新年を迎えた農村東由利——
ここに住む私たちが、住み良い町づくりのため、何をなすべきなのか——
今号では、恒例の新春座談会に、本町とは違う土地で生まれ育ちながらも、現在わが町の町民として生活をなされている方々などをお招きし、「私たちの見た東由利」をテーマに話し合いをしていただきました。

最初にこの町に来たときは夜で、町の中に灯りが少ないので寂しい感じがしました。でも2年間暮らしてみて、自然に恵まれたのかなと、子育てに適していると思っています。ただ、言葉の違いに不自由していて、今も電話などで相手の話しがわからずに、ご迷惑をおかけしています。

小松 昭和49年4月に島根県から嫁いできた高戸屋の小松です。最初にびっくりしたことはやはり雪でした。来た年は豪雪だということ、家の2階ぐらいの高さのところ、道の道があったのはほんとに驚きました。それと、小野さんと同じで、言葉が通じないことと、友だちがいらないということに、慣れるまで1年半ぐらいいかかりました。

出席者

- **小野 路子さん** みちこ
蔵新田・28歳・主婦
北海道札幌市出身
- **小松 静枝さん** しずえ
高戸屋・30歳・会社員
島根県石見町出身
- **白鳥 清郷さん** すがじろ
舟木・32歳・会社員
長野県箕輪町出身
- **小松 和男さん** かずお
智者鶴・31歳・会社員
北海道1年・東京都10年
- **遠藤 トモ子さん**
横渡・27歳・公務員
東京都に8年
- **町長 島山亮二郎**
- **司会 企画係長 寅田 敏雄**

嫁いってから11年になり、今では若妻会の活動や職場などが楽しく、私にとってこの町が最良の地となっています。

白鳥 長野県生まれで、現在舟木に住んでいる白鳥です。高校卒業以来、学生や社会人を含め関西方面で11年ぐらいい暮しました。以来仕事で都合で長野や福島勤務を経て、現在秋田信英に勤めています。この町に最初に来たのは、現在の工場の用地選考のときで、本荘から車で走ってきたときには狭い道路に不安を感じながら来たのですが、途中（横渡）から急にりっぱな道路になっていたことから「道路の整備されている町だなあ」と感じたのが第一印象です。

小松 智者鶴の小松です。中学校卒業後、北海道へ1年、そ

私たちの見た



(12/17・朋楽荘)

の後東京で8年ほど生活しました。Uターンする気はなかったのですが、家族の強い願いでしかたなく戻ってきました。今でも冬になると東京へ行きたい...と思います。しかし、よく考えてみると、雪がいやなこともあります、出稼ぎなどで町の中に人がいなくなることも、一層そうしたイメージを強くし、不安を感じさせるように思います。

遠藤 横渡の遠藤です。昭和52

年に東京へ就職してから8年間東京で過ごし、昨年の5月にUターンしました。なぜ5月に帰ってきたかというと、私は冬が大嫌い、あえて冬の終わった時期を選びました。帰ってきて驚いたのは、7つあった小学校が3つになり、すばらしい建物になっていたことと、子供たちが都会並みにバス通学をしていたことで、つくづくふるさとを離れた時間の長さを感じさせられました。

「自然に恵まれたところで子育てをするのが一番」

司会 ひととおり自己紹介と、東由利町の印象についてお話をいただいたところで、ズバリ、東由利町の良いところ、悪いところを、感じたままにお話をいただきたいと思っています。

良い面では、さきほど小野さんから、自然に恵まれていて子育てには適しているのではないかと、うお話しもありましたが...

遠藤 私、どうして今ごろUターンする気になったかというと、これからの子供のいる家庭の生活というものを考えたからです。

都会での生活は、大人にとっては便利で楽ですが、結婚して子供ができたとき、子育てにはふさわしくない環境のように思えます。やはり子供は、季節に変化があつて、野や山をかけめぐることのできる環境の中で育てたいですね。

白鳥 私は大阪にいます。アパートに子供がいたのですが、アパートから一歩外へ出れば、どこもみなアスファルトやコンクリートで、土の出ているところはほとんどなく、子供がともかわいそうに思えましたね。教育の水準は、都会も農村も変わらないように思えますし、東由利町のように自然に恵まれたところで子育てをするのが一番いいかも知れませんね。

町長 自然の話が出ていますが、わが町のスローガンは「豊かな自然 みんなで拓く町 伸びる町」で、自然を生かしながら町を

発展させようという町民の姿勢をうたっています。また、町民憲章の中にも「自然を愛し 環境の美しい町をつくります」を掲げ、町民の目標としています。

確かに、自然の四季の中に存在する冬の閑いには厳しさがあつてますが、そうした厳しさがあつてこそ、心豊かな町民性が育まれてきていると思います。そうした意味から「子育てに適している町だ」という意見に心強さを感じます。

司会 ほかにございませんか。

小野 良い面では、東由利町は健康に対する意識が高いということがいえると思います。たとえば、定期検診などが行き届いていて、本人さえ拒まなければ、あらゆる検診を受けることができます。私の住んでいたところでは考えられなかったことです。

悪い面では、道路が狭いことです。特に冬は大通りでも車が交差できないところもあり、私などはとても恐くて運転できません。札幌は東由利町と同じぐらい雪が降りますが、道路が広いのでほとんど交通に支障はありません。もう少し広い道路にしてほしいですね。

小松(前) 悪い面はまだあまりよくわかりませんが、良い面では、町民運動会に町民の7割ぐらいの大勢の人が参加するということです。町民がこれほど多く集まると(次ページへ)

(前ページから)
いうのは他ではあまり例のないことではないでしょうか。私にとっ

町民の町づくりに対する 意欲が足りないのでは：



白鳥さん

ては、県外から嫁いできた人たちの交流などもできて、いつも楽しみにしています。

会生活の方において、町には何ら刺激を求めなくてもよくなっているのではないかと——一番町の中心となつて町づくりに参加しなければならぬ方々が、そうしたことに真剣に取り組んでいるのかという疑問

を感じます。

司会 良い面ばかりしか出していただけないようですけれども、遠慮しないで悪い面も率直に出していただきたいと思ひます。

白鳥さんいかがですか。

白鳥 悪い点といひますが、この町の土地柄かも知れませんが、30代の後半から50代にかけての、町の中核となるべき方々が、約半年間出稼ぎに行かれてしまうというところから、年間を通じての、全町民の町づくりに対する意欲込みみたいなものが不足しているように感じます。というのは、出稼ぎに行かれる方々にとっては、もちろん生活がかかっていますし、仕方がないと思いますが、町にいるのは農業のできる半年間だけで、あとの半年間は都会の方に出ていて町にはいない——こうした生活の中で、ウエイトを出稼ぎや都



遠藤さん

司会 非常に手痛いご意見であり、ややもすれば冒頭に町長が言われた「井の中のかわず」の言葉のごとく、そういう面に気がつかないか、かつたきらいもあったようにも思われます。肝に銘じなければならぬ貴重な意見だったと思ひます。

司会 それでは今度は、東由利町にはこんなものが不足しているのではないだろうか——こうしたらもつと良くなるのではないだろうか——といったことについて、みなさん同士で話し合っていたかと思ひます。

遠藤

やはり何といつても人口の減少が気になります。私が中学校にいたころは4クラスもあったのに、今は2クラスしかありません。誘致企業が進出して人口の増加に期待が持たれますけど、若い女性を引き止

小松(和) 私もうターンしたとき、生活の違いに落ち込んだこともありますが、そんな気持ちが出稼ぎに行っている人にはマンネリ化してしまつて、普段の生活の中でも都会のイメージが強くなつてしまつていないでしょうか。そんなことから、真剣に町のことを考える意欲込みもなくなつていくのかも知れません。やはり、これからの町づくりは出稼ぎの解消が最大の課題だと思ひますね。

町長 お二人から貴重な意見をいただきました。冬、町で会う人々は、お年寄りや女性そして子供——そんな状態を今まで何とも思わないできました。このことは、出稼ぎが習慣化してしまひ、ある種のあきらめみたいなものがあつたのかもしれない。そして、こうしたあきらめが他の面にもあつたのではないかとと思ひます。

が出稼ぎ者の減少を導いてくれるものと思ひます。しかし、問題は中高年者の雇用の場の確保で、現在このことに対して真剣に取り組んでいるところです。

中高年者向け企業の誘致で 出稼ぎの解消を

小松(和)さん



めておけるような職場があれば、人口も増えると思ひますけど……

小松(和) 現状では難かしい面もあると思ひますけど、もし、そうしたことができれば、嫁婿問題の解消にもなりますね。

白鳥 やはり、若い人たちにと

つて魅力のある町にすることが一番だと思ひますね。そうしたことから、先月の広報にも出ていたけど、気軽に入れるシャレた喫茶店がほしいと思ひますね。若い男女が気がねしないで語り合える場があることは、若い人たちにとつて励みにもなるし、大きな魅力だと思ひますね。

小松(和) 最近では本荘や横手などに出かけ、ショッピングや食事、また、子供をゲームセンターで遊

ばせることが家庭サービスの主流になつていくようですけど、結局は一步外へ出て楽しく過ごせる場を求めているのだと思ひます。私たちの町にも、羽後町の五輪坂ハイツみたいなところがあれば、遠くに行かなくても、いつでも気軽に外へ出かけることができ、食事もできて、子供を手から離して安心して遊ばせておくこともできると思ひます。そんな場所をぜひ作ってほしいですね。

小野 私がこの町に来て不便に思ひるのは、買ひ物が簡単にできないということです。特に、野菜の自給農家が多いせいかも知れませんが、食事の仕たくの途中で野菜を買ひに行つても欲しいものがあったり……スーパーマーケットの

ようなものがあればいいと思うんですけど……

小松(和) 小さな町では、スーパーマーケットができるその他の商店に大きな影響を与え問題が出るかとも思いますけど、でも現実には、沼館まで毎日のように食料品を買いに行く人もいますので、むしろそうした店は必要になってきているのかも知れませんね。

小松(静) さきほど町長も、中高年齢者の働く職場を真剣に考えて

県外から嫁いできた人同士の交流の場がほしい……

司会 みなさんから、さまざまのご意見をいただきましたが、どれもこれも重要で、町がすぐにでも取り組まなければならぬ問題ばかりだったように思いました。のちほど町長にはまとめてお話しをいただくことにして、時間もなくなってしまうので、最後に町への要望について一言ずつお話し願いたいと思います。

小松(和) 愛育班など、町の行事への出席のため従業員の欠勤が多く、会社はもちろん従業員にも経済的影響が出ているようです。期日や時間、内容を検討してもらえないものでしょうか。

また、特産品のないわが町で、今売り出し中の桐こけしなどを含め、民芸品の創出にもっと積極的に力を入れてもらいたいものです。
白鳥 小松さんが言われたことと似てますけど、町の社会人野球の期日と、工場の稼働とが重なり、多くの社員がそのために会社を休

いると言われてましたけど、高齢化社会に伴い50代、60代の人たちは今後増々多くなると思いますので、中高年齢者向けの企業を誘致するなど、出稼ぎ解消も含めた施策がぜひ必要だと思います。

小松(静)さん



んでしまうということがあるので、行事と会社の休みとがうまく調整とれるよう、町の商工会などで検討してもらいたいと思います。
また、個人的な要望でもありますが、私どもの会社には現在150人ほどの社員がおり、今後200人から300人ぐらいの増員も予定されています。そのため、跡

見坂と新田の間の道路がどうしても狭く、今でも冬道は危険な状態となっています。拡幅が無理とすれば、冬季間、車が交差できるほどの道幅の確保を常時お願いします。
小野 私も道路についてですが、国道の整備を早急にお願ひし、本荘まで安心して車を運転できるようにしてほしいと思います。

遠藤 私は除雪についてですが、できれば、雪があまり積もらないうちにやってほしいと思います。特に国道で、積もった雪が除雪前に踏み固められてしまふと、雪が解けてきたときに砂利道よりひどい状態となつて連転がいやになることもありますので、他町から来る人たちのイメージを悪くしないためにも、気

小野さん



をつけてもらいたいものです。

小松(静) 町内には、私たちと同じように県外から嫁がれてきている人たちが大勢いますし、今後またくさんの人々が嫁いで来られるかと思っています。私もそうでしたが、知らない土地に入つて来る不安というのはいくぶん大きく、そうしたときに、話し会える人、仲間意識の持てる人がいれば、ほんとうに心強いと思います。そうしたことから、県外から嫁いで来た人たちが集まる機会や場を年に何回か設けてもらいたいと思います。明るい町づくりの一環にもなるように思いますので、ぜひ実現してくださるようお願いいたします。

司会 長時間にわたり、いろいろのご意見をいただきありがとうございます。まだまだご意見を聞きしたいところですが、予定の時間もまいりましたので、一応これで今日の座談会を終えたいと思います。最後に、町長からみなさんのご意見に対する感想などをまとめてお願ひします。

町長 新しい町づくりには、新しい時代へ対応する施策が必要に

なつてきます。そうした意味で、

みなさんからのさまざまなご意見は、これからの町政ですぐ取り組まなければならぬものばかりでした。町の行事と会社との関連の話しも、すでに問題になっている消防組織体制の問題と同じく新しい時代の中から生じてきたもので、行政だけではなく、みんなが知恵を出し合つて解決していかなければならない問題だと思っています。町政は町民みんなのものであり、町の一方的なやり方ではいけません。また、道路行政も、町なりに一生懸命努力しているところであり、今後5年、10年後には、かなり整備された道路に期待が持てることだと思います。

白鳥さんや小松和男さんのおっしゃられた、町民の意識の問題も私もあらうかと思われ、そうしたことを頭に入れながら町政を進めていかなければならないことだと痛感しています。まだまだみなさんのご意見をお聞きしたかったのですが、この場でなくても、いつでも私どもに声をかけてくださることをお願ひし、また住み良い町づくりのため、みなさんと手を取り合つて進めていくことをお約束し、今日の会を終わらせていただきます。今日はどうもありがとうございました。



座談会風景





建設中の特養老人ホーム

特養老人ホーム 設置条例を制定

町議会が飲酒運転追放などを決議

第9回町議会定例会が12月21日から4日間の会期で行われました。

会議では、町長の町政報告、一般質問のほか、特別養護老人ホーム設置条例や60年度各会計補正予算など21議案の審議が行われ、いずれも原案どおり可決しました。

また、議会最終日には、行政改革に関連する事項、特に議員定数の適否についての調査を総務財政常任委員会に付託したほか、町議会の飲酒運転の徹底追放などに関する決議案を議決、閉会しました。

12月定例議会

一般質問

今議会における一般質問と町長答弁の概要は次のとおりでした。

質問 小松 豊 議員

①ドル安円高基調下、誘致企業の今後の雇用計画、経営見通しは ②報道で、保育所建設の補助率が引き下げられると聞くが 他3件を割愛

町長答弁 ①経済不況下にもか

かわらず増産体制にあり、60年は第二工場に新規設備の拡充を予定、すでに採用決定の高卒予定者を含め増員が予定されている。②権限委譲や入所者等負担分の不合理性改善などの問題の絡みから、明ら

質問 遠藤 忠平 議員

①特養老人ホームの入所申込み状況は ②同、データーベース・ショートステイの計画は ③同、他町施設入所の町出身者に入所を呼びかける必要ないか ④本町少年非行件数は ⑤同、対策は 他2件を割愛

町長答弁 ①町内在宅ねたきり

老人17人、他施設入所者7人、入院中のねたきり老人6人、由利福祉事務所に入所希望を出している者28人。②8床分を予定。③できるだけ町出身者が入所できるようにしたい。④補導件数71件で、在

学少年と有職少年が半々。飲酒、喫煙、夜遊びがほとんどで、刑法犯はごくわずか。⑤関係機関と連携をとりながら啓発、諸事業の実施に努めている。

質問 長沼 久男 議員

①本町における交通事故の内容は ②一次産業振興の今後の見通しは 他1件を割愛

町長答弁 ①60年1月から11月

15日までの交通事故統計で、人身事故13件、物損事故33件。②本町は農業が基幹産業の町で、農業総合指導センターを中心として農業政策を最重点に進めている。しかし、農業の近代化に伴い今後内容が変化し、一種及び二種兼業農家が増えると思われる。

町政報告

今議会における町長の町政報告は次のとおりです。

稲作の作況▼12月20日現在の売渡米数量は86、843俵で、限度数量77、509俵に対し、9、334俵の超過となり、昨年9、334俵の超過となり、昨年1等米比率は昨年の88・2割に対し94・4割であり、品質も前年を上回る良い作柄となった。

あきたこまちの作付状況▼重点栽培地域に指定され、35割の割り当てを受けたが、実作付けは42割となり、作柄は予想に上回った。

転作状況▼目標面積164割に対して実績が171・5割となり、転作率は104割となった。葉たばこ収納状況▼売上げ額は1億6千3百万円で、10割当りの平均が46万6千円となり、前年を上回る高収入となった。

肉用牛の市場売り上げ▼市場取引き頭数1、003頭で、1頭平均では270、830円となり、昨年の222、118円に比較して大幅な高値となった。

出羽丘陵開発事業▼今年度の総事業費は、8億2千2百80万円だったが、実事業費で8億2千8百23万1千円となり、計画

の100割以上の事業量となった。草地造成工事は、周地谷地、坂戸、高屋、山岸、須郷、下大平の6団地で、47・42割。播種は、大森、高屋団地の全部と下大平団地の一部で、6・2割。道路工事は、大森、坂戸、善徳、周治谷地、荒山、高屋、山岸、須郷、下大平、強清水の、幹線、支線、合わせて8、656割がそれぞれ発注され、計画の100割以上の実績となった。

第三期山村振興対策事業▼畜産広場が予定どおり竣工、併せて畜魂碑も建立することができた。また、坂戸、新沢地区の暗渠排水、大吹川地区のかんがい排水合わせて1、719割の整備が計画どおりに完了。

農村基盤総合整備事業▼高館線は舗装工事を完了。上の台線は改良工事を終え一部舗装工事をを行ったほか、暗渠排水工事2・1割が完了している。

同事業は、来年度の上の台線舗装残工事と農村公園の整備をもって完了する。

育苗センター・ライスセンターの運用状況▼西山の育苗センターが10、300箱、法内、宿の育苗センターが3、000箱で、順調に利用された。また、ライスセンターの利用も前年度より増え、経営内容も好転のきざしを見せている。

森林作業道開設補助事業▼16路線、延長8、366メートルを実施。畜産指導の窓口の一元化▼11月20日から旧土地改良区事務所

質問 加藤 栄一 議員

①結婚問題にどう対処していくのか ②生活排水や畜汚水で不潔な生活を送っている地区を調査したか。また、改善整備策、専用排水路の計画はあるのか。他2件を割愛

町長答弁

①問題解決の根本は若者が定着するための職場であり、そのための魅力ある町づくりには法的規制がなく、春秋の清掃指導で環境保全に努めている。有畜農家等の汚水には法の規制があるが、春から4件の通報があり、改善指導している。専用排水路は、

審議ダイジェスト

特別養護老人ホーム設置条例を制定

▼名称「東光苑」・設置場所蔵字蔵83

畜産広場設置条例を制定▼設置場所 蔵字田子の沢37の23

町職員定数条例の一部を改正▼現定数79人を103人に改正(特養老人ホーム24人)

廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正▼浄化槽法制定に伴う町条例の一部改正

公有林野等官行造林契約の一部を解除▼出羽丘陵開発事業「強清水団地」造成に伴うもの

町職員の休日及び休暇に関する条例の一部を改正▼1月2日、3日及び12月29日から31日までを休日としたなど。

過疎地域振興計画で整備を予定。

質問 小松 鉄郎 議員

①町有財産、特に土地の把握が不充分 ②同、農地面積の調査が不正確では ③同、農地の保有は農地法違反では ④公用地として買収しながら放置、荒廃している土地がある。払い下げ等、適切、有効な利用を。他1件を割愛

町長答弁

①不十分な面もあり現在土地一筆毎を調査、台帳整備を行っている。台帳整備後に現地の照合調査を行う予定。②これまで元の数値に年度内の移動数値を加除してきたため、今後実態

陳情等

〔採択されたもの〕

●保育所改築費補助金についての要望(社会福祉法人玉米福祉会)

●61年度教育振興予算の配慮についての要望(町連合PTA)

●公営建造物木材需要拡大並びに木造公営住宅建設促進に関する要望(町建設技能組合)

●児童館母親クラブへの国庫補助金存続の意見書(秋田県児童館連絡協議会)

〔各常任委員会へ付託されたもの〕

●水道の布設について(土場沢、高屋水道導入促進対策協議会)

●高額療養費の受領委任払いを実施することについて(秋田県医療労働組合協議会)

を調査し修正する。③法の所有制限には例外もあり、これらの適用を図りながら善処していきたい。

④道路用地として買収の土地は今後も管理上、道路保全上、道路用地として運用したい。ただし、同用地で、管理、保全の必要のないものは実態を検討、払い下げを考

質問 小野 要造 議員

特養老人ホームの設置条例をなぜ今まで伸ばしたか

町長答弁

準備と運営の見通し決定後に条例制定するのが行政実例の実態。本件も61年4月1日の開設見通しがついたので本議会に上程した。

●由利学生東京寮の存続について(財)由利学生東京寮OB会

〔継続審査となったもの〕

●荒沢林道に関連する町有開墾地払下げの陳情(黒淵佐藤清治ほか4名)

交通事故撲滅を議決

町議会は今議会に、「飲酒運転の徹底追放と安全運転に関する決議案」を提出、出席議員満場の一致で議決しました。

これにより、町議会では今後、明るく住み良い町づくりの一環として交通安全運動に参加し、率先して、飲酒運転の徹底追放、シートベルト着用の徹底など、交通事故撲滅に努めることにしました。

交通死亡事故ゼロ2,000日達成 おめでとう 町議会

に関係機関の係員を配置、畜産関係指導の強化を図っている。

出稼ぎ▼12月20日現在573人で、今後の出稼ぎ者を見込んでも600人に達しないと推定している。

国道107号線宿区▼用地買収、支障物件の移転補償を60、61年度で完了し、61年度は一部改良工事に着手する予定。本年度計画分は関係者の協力で完了。団体営農道整備事業▼石高地区が完工、大台地区は改良工事を終了。

土地改良総合整備事業▼宮上地区の工事が完成。

農村総合整備モデル事業▼本年度分13か所のうち11か所を完了、残る館西線、後町線は、今年度計画分を2月中に完成する予定。

道路新設改良事業▼町道跡見坂線、島宮線の局部改良、舗装が完了、善徳線の法面工事は進

渉率が80割。

災害復旧工事▼町道袖山線が完成、そのほか8か所を工事中。

県営の道路工事▼広域農道八沢木線、広域林道矢走線とも本年度計画分を完成、八塩地区開拓農道は改良工事を完了。

教育環境の整備▼高瀬小学校プールの建設と東由利中学校給食棟の建設により一応終了。懸案となっている八塩小学校プールの移設問題などは、今後の整備計画の中で十分検討したい。

特別養護老人ホーム▼秋以降の悪天候により工事が若干遅れており、1月末まで工期を延長させ完工する予定。12月末の進捗率は87割。なお、職員募集に65人が応募、3倍の競争率のなかで試験により採用予定者の決定。1月中には採用予定者の研修を行い、4月からの開所に支障をきたさないよう準備を進める。

千円の減(工事費など)

第三期山村振興事業費▼1千6百19万4千円の減(同)

林道新設改良費▼42万円の減(同)

造林費▼166万3千円の減(造林人夫賃金など)

常備消防費▼94万7千円(本荘地区消防事務組合負担金)

教育振興費▼36万8千円(八塩小ミニバス大会派遣費補助)

寄宿舎管理費▼36万7千円(道路関連用地購入)

葬祭費▼40万円
大平スキー場施設管理費▼19万4千円(照明増設工事ほか)

主 補 正 予 算

60年度一般会計予算では、現計予算に2千9百62万2千円が追加され、歳入歳出予算の総額がそれぞれ25億4千47万円となった。

主な内訳は次のとおり。

町職員の給与改定関係▼8百81万8千円

特養老人ホーム設置費▼1千4百52万8千円(建築工事費ほか)

水田利用転作促進対策特別事業費▼57万8千円の減

放牧場費▼107万8千円の減

農道整備費▼3百40万9

みんなの協力で 交通死亡事故ゼロ 2,000日達成

本町の交通死亡事故ゼロの継続日数が
昨年12月6日で2,000日に達成、現
在も記録を更新中です。

本町管内での交通死亡事故は、昭和55
年6月15日に桂台で起きた事故以来発生
しておらず、現在のところ県内では仙北
郡南外村、北秋田郡合川町に次ぐ大きな
記録となっています。

交通量が年々増え、危険性が高まって
いるなかにあつて、こうした実績は、町
交通安全協会や町交通安全母の会などを
中心とした地道な交通安全運動の展開や、
町民の交通事故防止に対する意識の向上
によるものと思われ、今後も町民の一層
の注意、協力が望まれるところです。



交通死亡事故ゼロ2,000日達成記念パレード(12/7)

県警本部長から 本町に顕彰状が贈呈

交通死亡事故ゼロの継続日数が
2,000日に達成した翌日の12
月7日、県警本部の小松原茂郎本
部長が本町を訪れ、畠山町長に顕
彰状を贈呈、本町における交通死
亡事故ゼロ2,000日達成の栄
誉をたたえました。

また、交通事故防止のため、機
会あるごとに運動を展開してきた
町交通安全協会、町交通安全母の
会、町交通指導隊、本庄警察署東
由利駐在所、同宿駐在所の5団体
に畠山町長が表彰状を贈呈、これ
までの尽力を表彰するとともに、
今後の交通安全運動への協力を要
請しました。
(次ページへ)

職場の従業員をねぎらう

「町長の職場訪問」スタート

昨年12月4日から、「町長の
職場訪問」が行われています。
これは、住民の生活安定と
地域経済の発展に貢献されて
きた町内各事業所等の職場を町
長が直接訪問、従業員の激励を
行うとともに、企業や従業員が
かかえる課題、町への要望等
を聞くもので、概ね1か年で、
創業後3年以上たち従業員5
人以上の合計33事業所を訪問
する計画です。

初回の訪問となったのは、
(有)東邦製作所(蔵新田)で、当
日同社では畠山町長の訪問を
大歓迎し、作業を定刻前に中
断、畠山町長が小笠原茂社長
に感謝状を贈呈したあと、従
業員との意見交換に入りました。
意見交換では、①事業所等

の前庭の除排雪を検討してほしい
②西山工業団地を安価で分譲でき
ないかなど活発に要望が出され、
畠山町長が①実状に応じて対応し
たい②町政の方向に合致した企業
の立地に期待…などと答えました。



畠山町長から感謝状を受けとる、
小笠原茂社長(右)

子宮がん 検診

低い受診率を指摘 町保健対策推進協議会

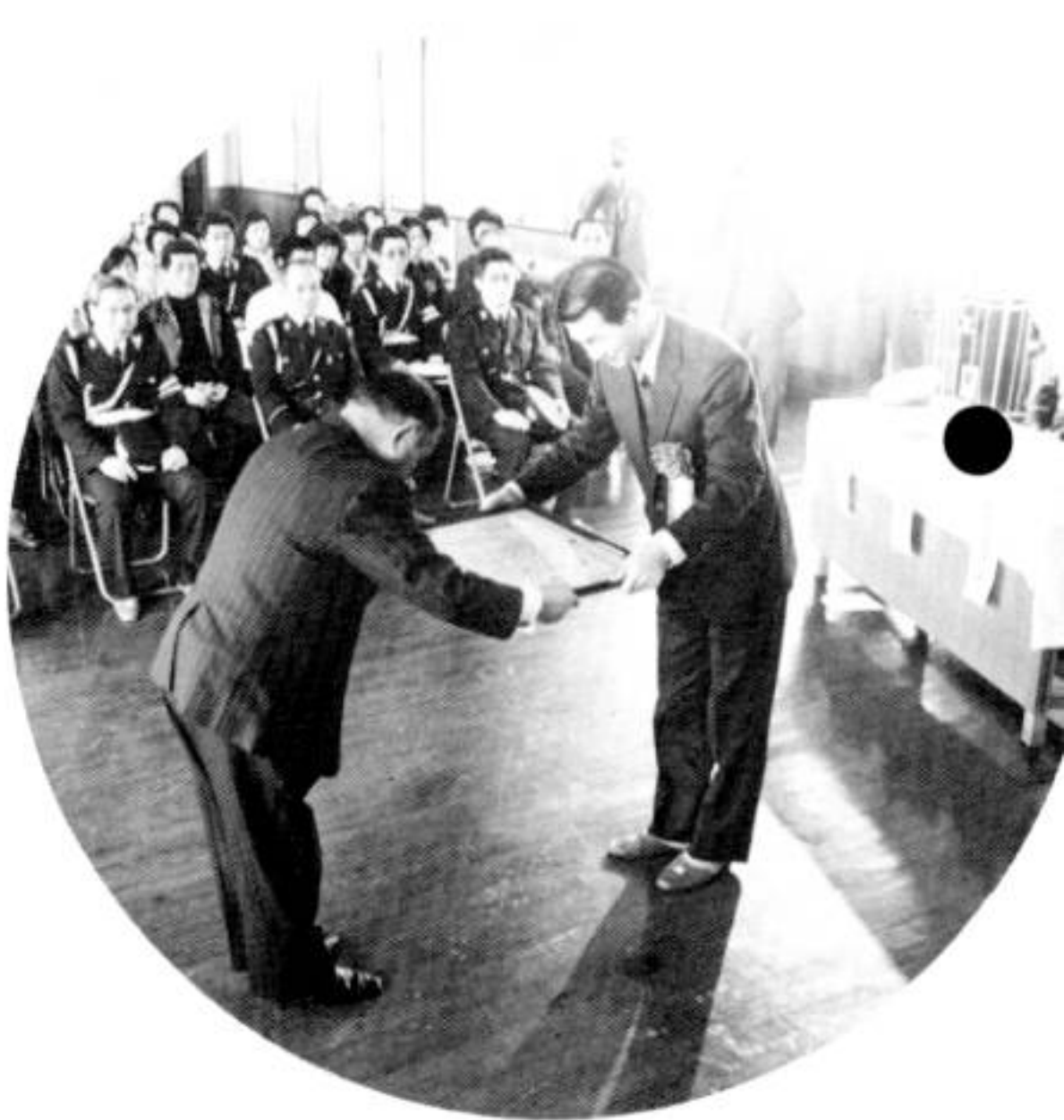
町内医師
や各種団体
の代表など
16人で組織
する町保健
対策協議会
が、12月10
日有鄰館で
開かれ、60
年度検診事
業の結果や
61年度事業
計画などに
ついて話し
合いました。

会議では、子宮がん検診の受診
率の低さが指摘され、町側から保
健婦が「一般病院での受診者もわ
ずかにいるものの、アンケートや
電話での調査結果から、受診意識
の低さが明らか」と説明、今後、
意識改革のため、PRや通知を徹
底して行うなどを話し合いました。
また保健婦の不足も取り上げら
れ、これに対して畠山町長は、「行
政改革を推進している折、増員は
難かしい、しかし、保健業務が年々増
大していることから、何らかの措置
が必要」とし、「今後十分検討の上、
早期に対策を講じたい」としました。

2、500日達成を宣言

顕彰状、表彰状贈呈式には町交通安全協会から100人余りが出席、畠山町長が式辞で「住民の命と財産を守るのが地方自治の基本、交通事故のない明るい町づくりのため、今後もみなさんのご協力をお願いする」と述べたあと、小松原県警本部長が「交通事故死亡事故が県内で異常発生している中、当町では2、000日にも及んで死亡事故が発生していないことに心から感謝する。今後もみなさんの努力で、記録をますます伸ばしてほしい」とあいさつしました。

このあと、本庄警察署長、由利福祉事務所長、町議会議長が祝辞を、また、町交通安全協会・長谷



県警本部長(右)が来町し、2,000日達成をたたえる顕彰状を畠山町長(左)に贈呈しました。

山光会長が、「今後運動を強化し、交通事故死亡事故ゼロ2、500日を達成しよう」と宣言しました。

顕彰状等贈呈式のあと、町交通安全協会や、母の会会員ら100人余りが車に分乗し、町内をパレード、2、000日達成を祝うとともに、今後2、500日まで記録を伸ばそうと呼びかけました。

■サラリーマンと税金■

確定申告をすると

税金が戻ります

サラリーマンが納める所得税は、普通、年末調整で過不足が精算され、納税は完了します。しかし、災害に遭ったり、多額の医療費を払った場合や、マイホームを購入したときは、確定申告をすると、税金が戻ってくる場合があります。

雑損控除を受ける場合

地震、火災などの災害や盗難、横領により住宅や家財に損害を受けた場合、下表の(1)と(2)によって計算した金額のうち、いずれか多い方の金額が雑損控除として所得金額から控除されます。

なお、損害額のうち、保険金などで補てんされた額は除かれます。雑損控除を受ける場合は、被害

医療費控除を受ける場合

を受けた損害額の明細書や領収証を確定申告書に添えて提出するか、確定申告書の提出の際に提示してください。

病気やケガなどで、多額の医療費を支払った場合、所得金額から控除されるのが医療費控除です。控除される額は、下表の計算式で算出します。

医療費には、控除の対象になるものと、ならないものがあります(詳しいことは町役場税務署で)ので、注意してください。

医療費控除を受ける場合は、医師などの領収書を確定申告書に添えて提出するか、確定申告書の提出の際に提示してください。

住宅取得控除を受ける場合

民間の金融機関などの住宅ローンを利用して、マイホームを建てたり、購入した場合で、一定の要件に当てはまるときは、住宅取得控除が受けられます。

この控除は、入居した年から3年間、各年分の所得税から一定額が控除されます。

サラリーマンの場合は、1年目について確定申告が必要ですが、2年目、3年目は、税務署から送られてくる「住宅取得控除証明書」などの一定の書類を、勤務先に提出して年末調整で控除を受けることができます。

それぞれの控除について詳しく知りたい場合は、町役場税務課、または税務署でお尋ねください。

間伐材使った休憩所完成

町民いこいの森に「名前をつけて…」

八塩ダム周辺の町民いこいの森に、このほど間伐材を利用した休憩所が建設されました。これは、町外客などから「花見シーズンに、雨やどりする建物ほしい」の声に応えて建設されたもので、山小屋風で素朴な美しさの休憩所(約20平方メートル)は、土台と屋根以外はすべて町有林から伐採した間伐材を利用。町では「間伐材利用のモデル建築でもあり、今後もこうした間伐材の有効な利用を図っていききたい」としています。



町民いこいの森に完成した休憩所

なお「同休憩所に、親しまれやすい名前を…」と、町では町民のみなさんの連絡を待つことにしています。(☎69-2110・林業係)

▶雑損控除の計算◀

- (1) 損害額—所得金額の10%
- (2) 損害額のうち災害関連支出の金額—5万円

▶医療費控除の計算◀

$$\left(\begin{array}{l} \text{昭和60年中に} \\ \text{支払った医療} \\ \text{費の総額} \end{array} - \begin{array}{l} \text{保険金など} \\ \text{で補てんさ} \\ \text{れる金額} \end{array} \right) - \left(\begin{array}{l} \text{5万円または所得} \\ \text{金額の5\%のい} \\ \text{れか少ない額} \end{array} \right) = \text{医療費控除額 (最高200万円)}$$

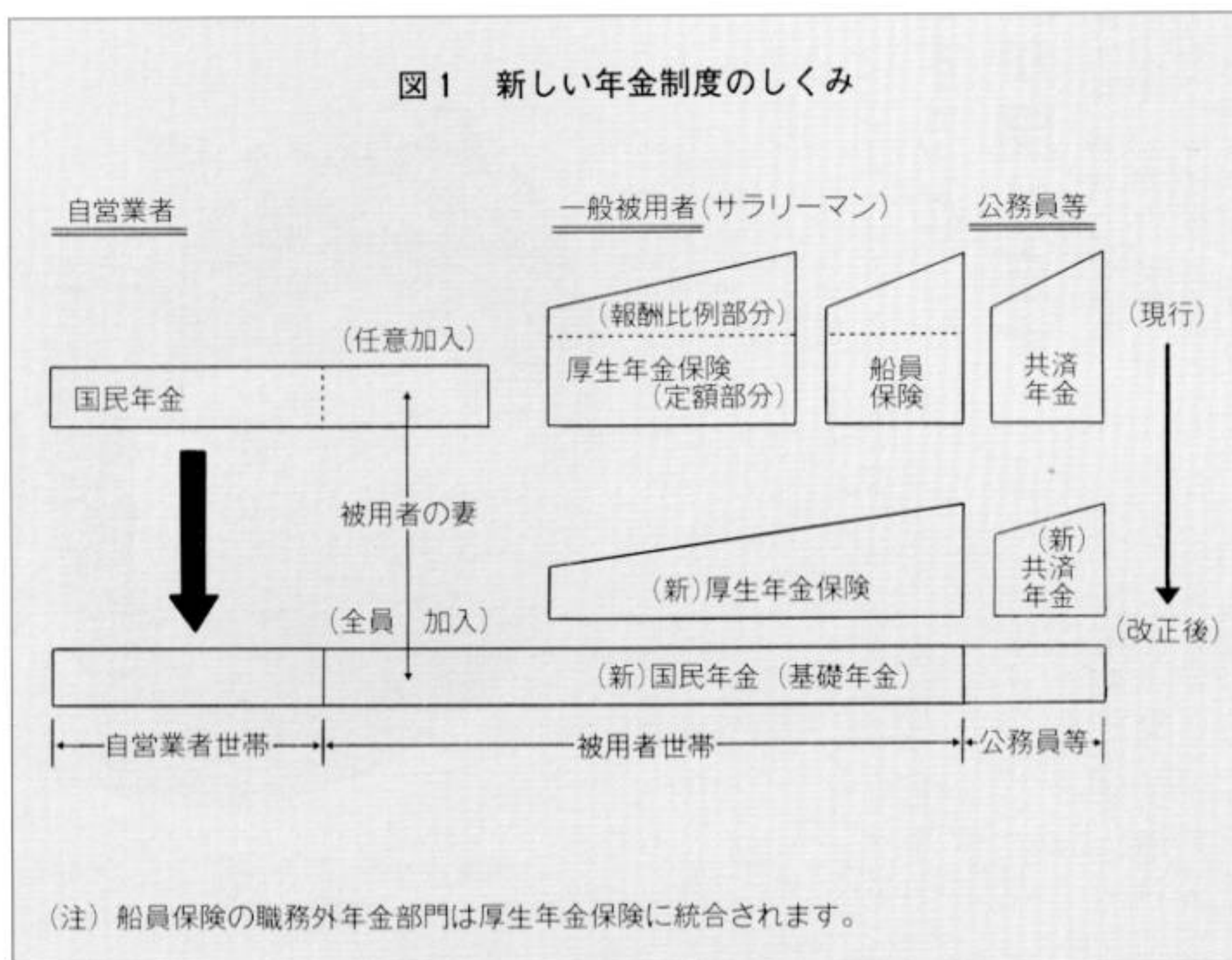
新しい年金制度 ①

変わります



八塩小祖父母学級

図1 新しい年金制度のしくみ



今年の4月から公的年金制度が変わります。今回の改正は、今後、高齢化社会を迎えるなかで、公的年金制度を長期的に安定したものに改革することを目的としています。

主な改正点は①「基礎年金」制度の導入——従来の国民年金の適用を拡大、すべての国民が加入する②給付水準と保険料負担の適正化③婦人の年金権の確立④障害年金の充実——などです。

今後、3回にわたって「新しい年金制度」を紹介します。

制度改正の4本の柱

1 サラリーマンも国民年金に加入

■基礎年金制度の導入■

今回の改正で「基礎年金」制度が導入されます。基礎年金とは、今までの国民年金に自営業者等だけでなく、サラリーマンやその奥さんなども含めた国民(被保険者)すべてが加入し、共通の給付として支給されるもので、国民すべてで年金の基礎部分を支えていくというものです。

この結果、厚生年金保険は国民年金の上に乗し、加入期間分の「報酬比例の年金」を支払った保険料額に応じた年金を支給する二階建ての新体系となります(図1参照)。また、船員保険は厚生年金に統合されます。

なぜこのような改革が必要なのでしょう。今までの公的年金制度は、サラリーマンなどを対象とする厚生年金、船員を対象とする船員保険、公務員などを対象とする四種類の

なぜこのような改革が必要なのでしょう。今までの公的年金制度は、サラリーマンなどを対象とする厚生年金、船員を対象とする船員保険、公務員などを対象とする四種類の

なぜこのような改革が必要なのでしょう。今までの公的年金制度は、サラリーマンなどを対象とする厚生年金、船員を対象とする船員保険、公務員などを対象とする四種類の

〈基礎年金制度のメリット〉

(1) 制度間の格差が是正できる
各制度共通の仕組みなので、すべての国民にとって給付の条件や負担が等しくなります。

(2) 就業構造の変化による影響を受けにくい
自営業者もサラリーマンも一

緒になって制度を支えているので、ある業種の被保険者が減少しても基礎年金部分へは影響が及びにくくなります。

(3) 一人一個の基礎年金が確立される
重複給付などを防ぐことができます。



公的

年金制度が

2 現状のままだと負担増に

■給付と負担の適正化■

今回の改正では、年金の給付と負担を適正化するために、サラリーマン世帯の場合、標準的な年金額が現役勤労者の平均賃金の68%という、現在の水準程度が将来にわたって維持されるようになりました(図2参照)。

〈適正化を図る背景〉

現在、年金受給者の平均加入年数は32年ですが、今後は40年程度が一般的になると考えられます。現状の給付水準をそのまま続けていくと、将来の年金額は、現役勤労者の平均賃金の8割以上にもな

ります。さらに、奥さんが国民年金に40年間加入していたとすると、夫婦合計の年金額は現役の平均賃金の109%になってしまいます。現役勤労者と年金受給者の生活費の内訳を見ても、現役勤労者は賃金から税・社会保険料を引かれ、さらに子供の教育費や住宅ローンなどを払っていかねばなりません。これに対し、年金受給者は、税法上優遇されている上に年金保険料の支払いは不要で、家計も老夫婦二人の生活を維持していけばよい——これらのことを考えると、現役勤労者の平均賃金の8割や11

割というのは、いかにも高い給付水準といわざるをえません。

〈ピーク時には4倍の負担に〉

また、このような高水準の給付を支えるためには、現役世代の保険料負担をピーク時(昭和100年ごろ)には現在の4倍程度に増

3 奥さん名義の年金が持てます

■婦人の年金権の確立■

改正前の制度では、サラリーマンの奥さん(専業主婦)は、国民年金に任意加入しない限り、自分名義の年金は持てませんでした。今回の改正では、サラリーマンの奥さんを含む国民が国民年金に加入することになり、それぞれの名義の基礎年金の支給を受けることができるようになります。こ

やさなければならなくなり、負担面からみても、現行制度の構造的な水準は高すぎるということができません。このような状態にならないために、給付や負担の水準を適正化することが必要なのです。

4 障害基礎年金の適用を拡大

■障害年金の充実■

20歳未満で障害者となった方は、今までは20歳を過ぎても低額の障害福祉年金しか受けられませんでした。これらの方々も改正後は、20歳以後に障害者となった方と同額の障害基礎年金が支給されることとなりました。

障害基礎年金の拡大

障害福祉年金	障害基礎年金
1級障害38,400円/月	→62,500円/月
2級障害25,600円/月	→50,000円/月

(注) 月額はいずれも昭和59年度価格です。



※金額はいずれも昭和59年度価格
(注1) 昭和55年改正時の単価2,050円を昭和59年度価格に換算したもの
(注2) %は現役男子の平均標準報酬月額254,000円に対する比率

図2 サラリーマン世帯の標準年金額

	〔昭和61年〕 32年加入		〔成熟時〕 40年加入	
夫 分	報酬比例部分 81,300円 (25.4万円× $\frac{10}{1000}$ ×32年)	→	老齢厚生年金 (報酬比例年金) 76,200円 (25.4万円× $\frac{7.5}{1000}$ ×40年)	夫
	定額部分 76,800円 (2,400円×32年) (注1)		老齢基礎年金 50,000円	分
	加給年金 15,000円		老齢基礎年金 50,000円	妻分
計 173,100円 (68%) (注2)			計 176,200円 (69%) (注2)	

machi no wadai まちの話題

葉たばこも豊作

前年より1千万円以上

の増収 — 10a 当たり466,732円

民営化されて初の、葉たばこの収納が昨年11月27日から3日間行われ、横手市の収納所で検査集計の結果総売上げ額は1億6千3百



葉たばこの収納状況(横手市で)

万円となり、前年より1千百万円余りの増収となりました。また10a当たりの収量は292kgと、前年を26kg上回り、10a当たり売上げ額は前年より約3万6千円多い46万6千7百32円となりました。葉たばこは米に次ぐ作物として本町の産業経済を支えており今年度も97戸の農家が35haに作付け、12月5日には耕作者が一堂に会し、恒例の「反省会」を行って稲作と並ぶ葉たばこの豊作を喜び合いました。

なお、個人別では10a当たり358kgを収穫した阿部仁志さん(岩館)が、総代区別では10a当たり328kgを収穫した松沢総代区がトップでした。

女子青年研修
第2回青年講座

町連合青年会(小野孝悦会長)では、昨年12月14日と15日の2日間「女子青年研修兼第2回青年講座」を開催、由利町の青年男女7人を含む男子12人、女子22人の青年が参加し、盛会に行いました。

初日の前段は会場を二つに分け、朋楽荘で小松良竹医師(下小路)を囲み妊娠などについての話し合いを、女子を対象に、また、公民館では町選挙管理委員会の書記で

交流を深めよう

参加…もっと欲しい

青年会員の佐藤博敦くん(八日町)を講師に男子が選挙についての学習を行いました。

研修・講座終了後は、朋楽荘でアルコールを入れながらの交流を夜遅くまで行い親睦を深めました。同種の研修会等は、これまでも何回か行われてきていますが、参加者が少ないことが悩みともされており、嫁婿問題が深刻だと言われる折、青年自らがすすんでこう

した研修会等に参加することも大切なことのように思われます。



朋楽荘での女子青年研修

昭和60年国勢調査の

人口は5、853人!!

10月1日全国いっせに行われた国勢調査の人口(確定値)が発表されました。

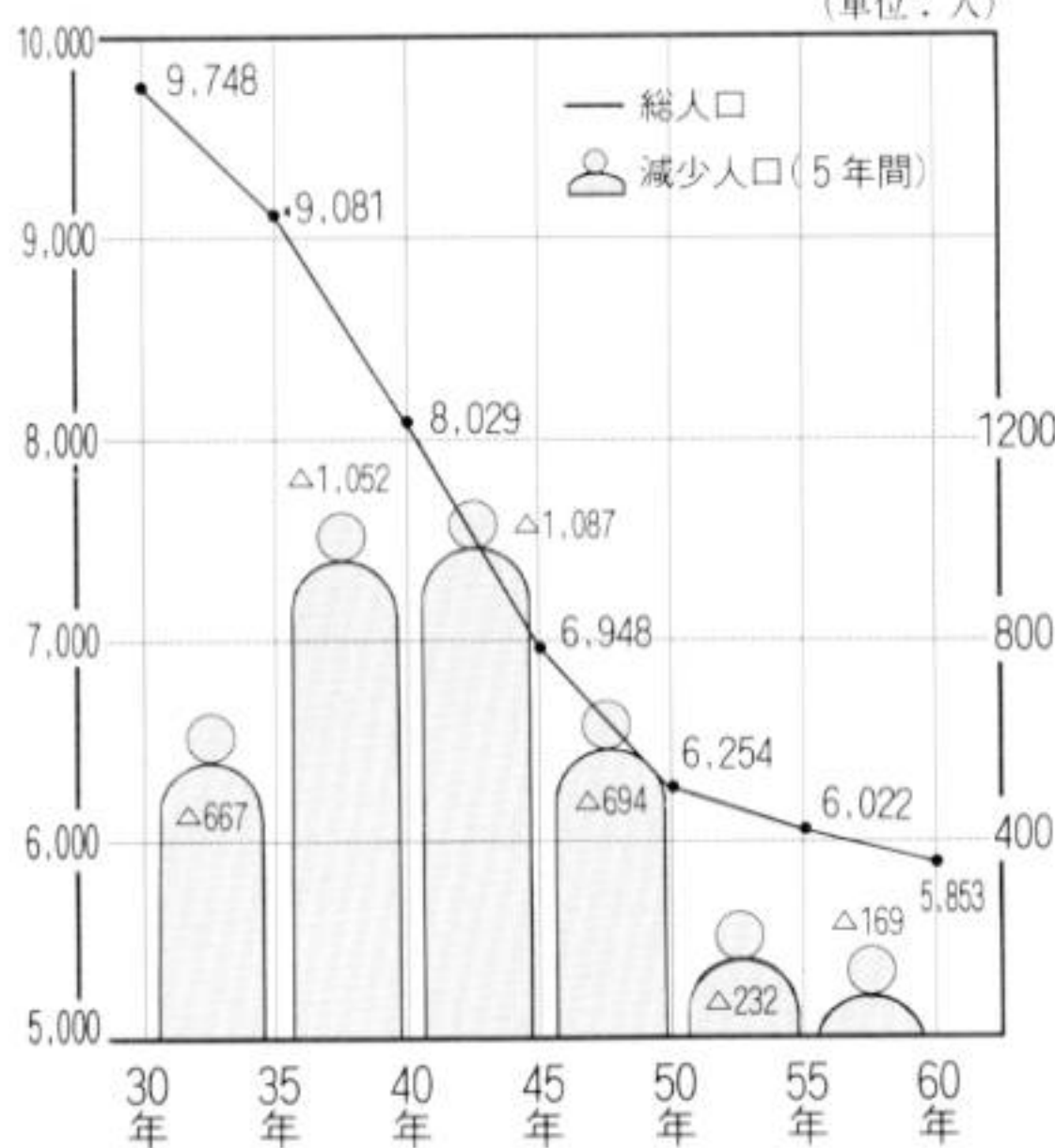
これによると本町の総人口は、5,853人で、昭和55年から60年の5年間で、169人(2・8%)減少となり、前回の232人(3・7%)に比べて減少率が純化しました。総人口で

は、全県69市町村中57位(前回は58位)となりました。

男女別人口は、男2,864人(48・9%)、女2,989人(51・1%)となっており、前回は比べ男71人(2・4%)、女98人(3・2%)と共に減少しました。

国勢調査人口の推移と減少人口

(単位:人)



人口予想クイズ1等は

遠藤誠功さん(新処)

りました。

以下は、次のとおりです。

2等 遠藤法久(野田)

3等 佐藤リエ(蔵新田)

残念賞 高橋留美(横小路)

阿部真喜子(野田)、太田由美子(蔵新田)、太田弘(同)、太田ユミ子(同)

が、5,858人と答えた遠藤誠功さん(新処)が1等に決ま

選挙管理24年の 工藤武雄さんが 県選管から表彰

町選挙管理委員会の委員長として、長年本町選挙の管理事務及び選挙啓発事務に従事されている工藤武雄さん（山崎）に、このほど秋田県選挙管理委員会委員長から表彰状と記念品が贈られました。

工藤さんは昭和36年からこれまで24年余りの長きにわたって本町選挙管理執行にたずさわってこられました。今後とも適正な管理執行をお願いいたします。



工藤さん

31点が特選に輝く

郡市児童生徒美術展

このほど行われた郡市児童生徒美術展で、本町小学校の児童生徒が出品した作品のうち31点が特選に輝いたほか、49点が入選しました。特選となった方々は次のとおり。

（学年・敬称省略）

〈彫塑部門〉

八塩小▽高橋潤、渡辺靖之、小松由貴雄、小松由佳、阿部郁英、

大琴小・八塩小の 子ども銀行が 貯金局長賞など受賞

貯金の大切さを小さいころから身につけさせ、おとなになってから役立たせようと町内小・中学校で行っている「子ども銀行」のうち、大琴小学校の子ども銀行が郵

政省貯金局長賞を、八塩小学校の子ども銀行が東北郵政局長賞を受賞しました。

いずれも子どもたちが自らでむだ遣いをしないよう声をかけ合い、小遣いなどを少しずつ貯金してきたことが認められたのですが、この受賞を機に、ますます貯蓄意欲を高め合うとともに、協力し合うことの大切さを学んでほしいものです。

楽しいイベントで「雪んこふれ合いの集い」を開催

町青少年健全育成町民会議

町青少年健全育成町民会議（畑山昭一会長）では、町内の小・中学生に、ゲームや話し合いなどを通して仲間同士のふれ合いを高めさせることから健全育成を図ろうと、来る1月13日（月）、有隣館や東由利中学校を会場に「雪んこふれ

佐藤一幸、菊地晃、高橋優子、高沢敦、村上喜美子

高瀬小▽小野大輔

大琴小▽近江真也、鈴木稜、鈴木慎悟、鈴木政也、畑山敦、大庭

真悟、阿部隆幸、佐々木裕貴枝、

佐々木雅史、浅田大樹、小野春樹、

佐々木千富、畠山好守

〈デザイン部門〉

八塩小▽下田登和子、三浦紀子、

長谷山奈緒、菅原健太郎

〈絵画部門〉

八塩小▽佐藤和美

高瀬小▽畠山尚子、伊東輝也（版画）



合いの集い」を開催することになっています。

当日は「第1回ウィンター杯争奪地区別対抗綱引き大会」、「地区別対抗縄とび大会」、「映画」などの楽しいイベントのほか、全員に「肉汁」がサービスされることになっています。

なお、これには一般の方も参加できるということです。参加を希望する方は、☎69・2311・石渡まで連絡してください。

愛の献血ありがとう

12月19日、県の移動献血車「あかつき号」が来町、町内5か所で次の38人の方々に血液をいただくことができました。太字は20回以上献血されている方です。次回は3月下旬に行われる予定です。

大琴診療所前 6人

玉米支所前 7人

佐々木日出夫 佐々木雅廣 高橋 富男 高橋 政一
長谷山節男 畠山 楸 佐藤 操 小松 ハツ
大塚 和恵 浅田ヒデ子 小松 政二 千葉長一郎
佐藤 好男

役 場 前 15人

公民館前 4人

石渡 博澄 高橋 虔一 工藤 良 貝田 裕昭
小野 信子 小笠原キウ子 佐藤みほ子 横山美和子
阿部 弘章 小野 進 大蔵館前 6人
猪股 寿和 小松 和子
高橋 重保 佐藤 孝悦
伊東 健市 阿曾 文彦
浅田 照信 小野 肇
遠藤 利彦 畑山 敏 石渡伊佐子
伊東 隆 小笠原豊和
嶽石 文弥 伊東喜久治

あなたの心を伝えよう

「はたちの献血」キャンペーン
今年で10回を迎える「はたちの献血」キャンペーン。（社）日本民間放送連盟（民放連）主催で、

はたちの人を中心に献血の輪を広げるイベントです。ラジオとジョイントし、地域社会での献血運動が、1月13日から3月31日まで繰り広げられます。

大量に必要な輸血用血液

昨年は全国で1日平均4、782cc（200ccの牛乳パックで、2、3910本）もの血液が手術などに使われました。

輸血用血液は年々増加しており、手術の時には大量に必要です。病気やケガで苦しんでいる人の尊い命を救うため、社会の一員として献血にご協力ください。見知らぬだれかに、あなたの心が伝わります。





みんなのひろば

お母さんへ 生活日記 今年私の4回目の 「干支」



高橋シゲ子さん
寺田

今年私にとって4回目の「虎年」月日の経つ速さに、いまさらながらびっくりしているこのごろです。

結婚して27年、出産、育児、仕事、主婦業——忙しい毎日でした。そんな毎日を送っているうちに、いつの間にか甘えん坊だった2人の子どもたちも社会人に——これからが余裕ある私の人生のように思っているところです。



さて、虎は千里を行って千里を返るといわれます。虎年生まれの私も、この一年、これまでの人生を振り返り、これからの人生にむかって、ねばり強く、前向きに歩いていきたいと思っています。

われら中年 がんばります ます！

工藤秀悦さん
野田・43歳

根性のある
粘り強い人です

工藤さんは、水田82ア、畑11アを営営する傍ら建築業に従事する第二種兼業農家で、27歳の時独学で2級建築士の免状を取得、以来



大工としてがんばっています。

若いころは、法内青年会の会長や、連合青年会の副会長を務めるなど、地域社会の第一線で活躍、また、歴史ある青年駅伝大会や社会人野球大会では、工藤さんの率いるチームが優勝するなど、本

私の 赤ちゃん



阿部奈央子ちゃん・岩館

60・2・9生まれ

陽悦さんとミキさんの長女

わが家のひとり娘「奈央子」です。なかなか伸びない髪と、大きな身体のためか赤い服を着ているのによく男の子と間違えられます。

最近、天気予報の「ヤンボー、マーボー」の歌が聞こえてくるとすっかりご機嫌です。

これからも、元気なやさしい子に育ってほしいと思います。

町スポーツ史上にも大きな功績を残しています。

中学校卒業と同時に、一家の大黒柱として家族を支えていかなければならない事情にあったという工藤さんは、精神的、肉体的苦勞の中から、人に負けたくないという強い根性と、粘り強さを培かい、昭和43年には当時では容易ではなかった1等米を大量に生産、関係者から注目を浴びました。

6年前、生死をさまよう大病に襲われたこともあるということでしたが、今ではすっかり回復、今年高校に入学する長男をはじめ、3人の子供の将来に密かな期待をかけながら仕事に精を出してがんばっています。



紹介者
はやと
小松逸人くん



利幸くんは、おもしろい顔をするのが得意です。なかでも、ドリフの志村けん顔をまねるのがうまいので、今度、そっくりショーに出たらいいと思います。

人気もの
としゆき
小松利幸くん
高瀬小・2年



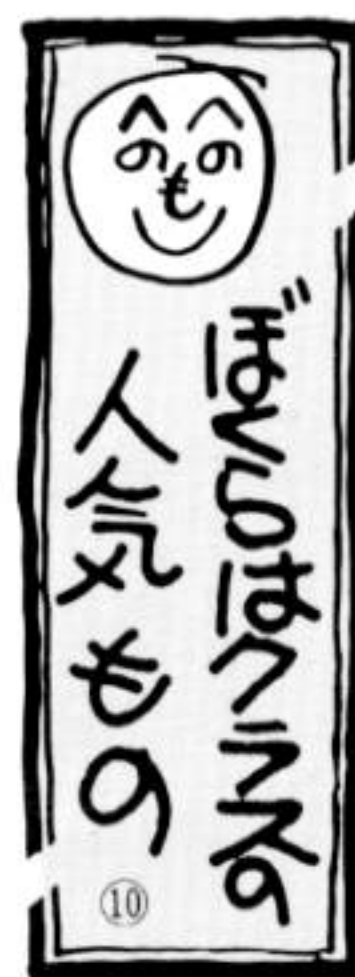
人気もの
ひでかず
小松秀和くん
八塩小・2年

卓球やドッチボールが上手な運動神経バツグンの秀和くんは、ひょうきんで、おもしろいことをいってぼくたちをずっけさせるのが得意です。



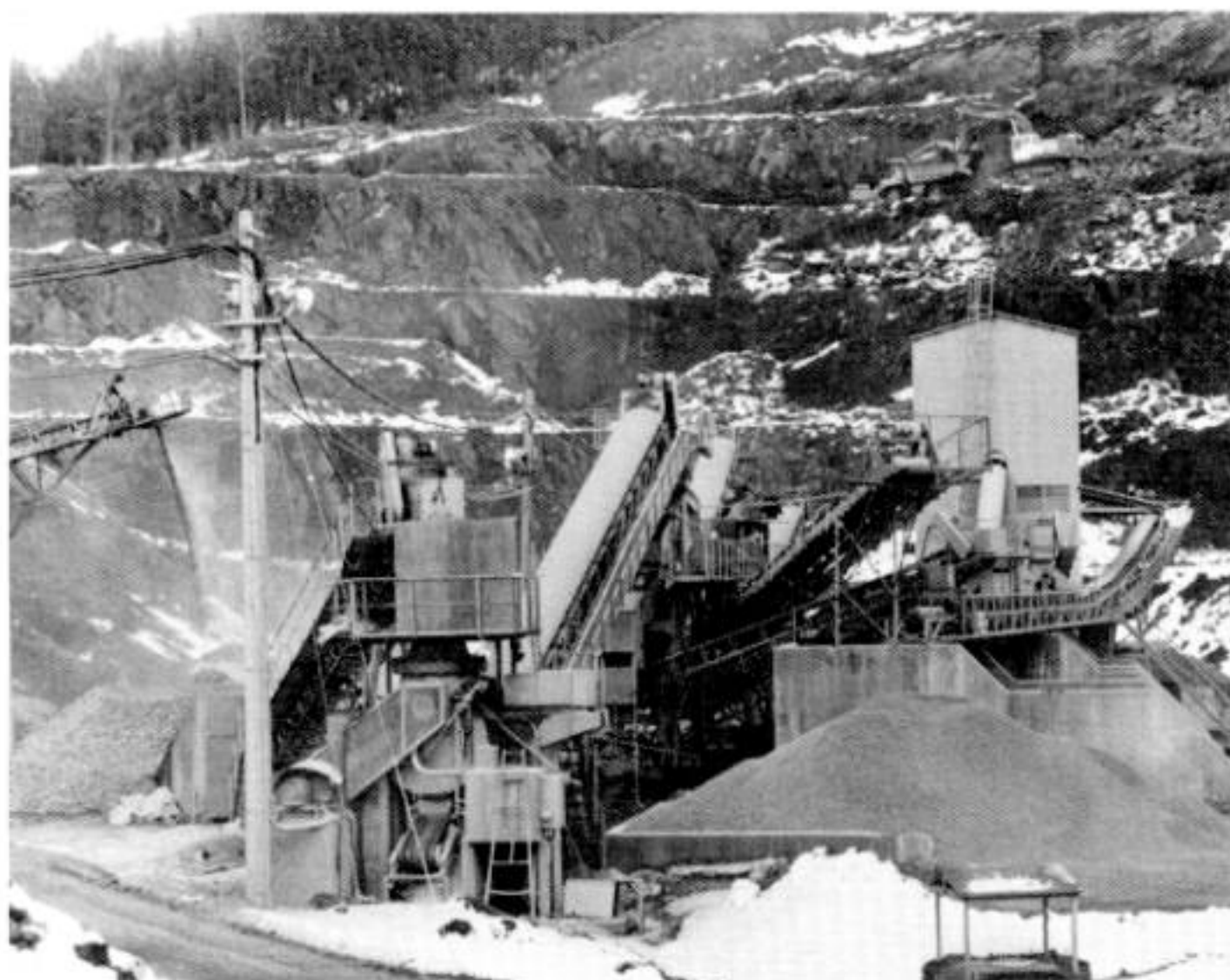
紹介者
よしただ
小松義隆くん

町内小学校2年生のクラスの人気ものを、仲の良いお友だちから紹介していただきました。



町の生活目標

1. 町の心は明るいあいさつ
2. きれいな町で健康な暮らし
3. ミエ・ムダはぶいて生活の工夫
4. 学び・働き・助けあう・ゆたかな心



東由利砕石(株)は、昭和53年に創立、道路の造成に欠かすことのできない「砕石」(砂利)を生産しています。

従業員は男子14名、女子1名で、年間約8万9千トンの砕石を生産し、1日平均大型ダンプトラックで40台を販売しています。販売先は、町内が3割、平鹿雄勝地方の業者が7割となっています。

冬期間(1月～3月中旬)は生産をストップし、機材の整備・点検や、夏期間に生産した砕石の販売を行うなど年間を通して稼働し



東由利砕石(株)

- ・大日向幸博くん
- ・小松 広光くん
- ・加藤 俊明くん



左から、加藤くん、小松くん、仙道常務、大日向くん

ていますが、同社常務取締役の仙道良平さん(羽後町西馬内)は、「原石(アンザン岩)も豊富で、需要もますますの状態…しかし、砕石が最も多く利用される11～12月に、従業員が出稼ぎで欠員となるのが売り上げの歯止めともなっている。社員として年間勤めることのできる町内在住の従業員がほしい」と、人材不足に頭をかかえていました。

ちなみに、同社では社会保険や厚生年金を完備、完全月給制ということでした。

高校生の企業訪問

No.10



ゆりかご句会
十二月句会

新雪に駆ける仔牛に棚なおす 亮子
新ら雪に芥焼く火の燐ぼりぬ 北阪子
ポケットの中の拳や雪の朝 貞子
母の忌の新雪丸く墓つ、む 女沙
鉢ごとに声かけ払う今朝の雪 秀月
快気して新雪確かにぎりしめ 京子
初雪や鳥海山に三度で里に來し 掬水

枯芦の沼も一夜で雪野原 孤舟
屋敷神還る雪など掃りておく 鉄牛
出稼ぎが哀れにも見ゆ傘の雪 一柿
鍋焼きと店先で決め女連れ トミ
鍋焼きにほどよく煮られさくら海老 澄子
今日も又鍋焼暖簾あわただし 芳翠
鍋焼きや孫の土産の長寿箸 秀月

人気もの
大庭優子さん
大琴小・2年



紹介者
小野智子さん

優子さんは、お父さんとお母さんが大平スキー場で働いているせいか、スキーがとてもしょうずです。やさしいのでみんなから好かれています。

公民館図書室からのお願い

- ① 貸出し図書書の返却について
2週間の貸出し期限が過ぎても戻ってこない本がたくさんあります。忘れている方は、町民みんなの本であることを考え、早急に返本してください。
- ② 図書購入の希望について
公民館図書室に準備していただいた本や辞書類がありましたら、図書購入の参考にしたいと思しますので、電話などでぜひお知らせください。
- ③ 図書室をご利用ください
昨年は高瀬小学校の6年生27人が集団で来館し、どんな本があるかなど学習していました。集団または個人で、いつでもお気軽にご利用ください。





みんなのひろば



チャンピオン

虎年生まれの泰子さんは、昨年東京からUターンしてきた、とても明るい性格の娘さんでした。五郎さんの長女で、父母、弟夫婦、姪、祖母の7人で暮しています。現在秋田信英に勤めています。美容師の資格も持ち、時々友だちの髪を整髪してあげることもあるとか…。「今年は年女としかん一何か大きいことをやりたい」と話す泰子さんに聞いてみました。

モットーは……人の足をひっぱらないよう心がけています。
仕事は楽しいですか……社員が多いので、いろんな人と知り会え、話しができ、とても楽しいです。
適齢期のようなのですが……25歳になってから考えます。
理想のタイプは……他人に左右されないで、自分の考えをきちんと主張できる人。

料理も得意な泰子さん…嫁さんにしたい人いませんか…。

正月の想い出：

故郷のみなさま、あけまして
おめでとうございます。昨年に
も増して良い年でありますよう
心からお祈りいたします。

故郷での正月というと、まず
思い浮かぶのが「ワラぐつ」で
す。毎年、新年を迎えると新し
いワラぐつを覆はいて、外へ遊び
に出かけたものです。年の瀬に
なると、祖母が新しいワラぐつ
を私たちのために夜遅くまでか

かつて作ってくれました。新し
いワラぐつを覆けると思うと心
が躍り、新年になるのがとても待
ち遠しく思いました。新年になっ
て、そのワラぐつを覆いてソリに
乗ったり、鬼ごっこやかくれんぼ
などをして夜遅くまで遊んだもの
です。家の中では、糸に針をつけ
てみかんやお菓子を釣ったり、い
ぬ棒かるたをやったりしました。

小正月と言われる15日には、「か
ぎびっこ」という木を迎え、門松
といっしょに飾りました。よその

たものです。

今思うと懐しいことばかりで昔のようなお正月は今ではなかなか迎えられません。そうした楽しいお正月を迎えることができたのも、祖父、祖母、父、母のおかげで、ほんとうに感謝の気持ちでいっぱいです。

故郷の寒さもますます厳しくなりますが、みなさまも元気で頑張ってください。

(お住い) ▼ 東京都北区東田端 2の4の2)



①9



小松田忠助さん
(泡の淵出身・52歳)

家に「朴ぼくの木」が何本あるか、と数えたりしても遊びました。そして、「やせうま」（今で言うお年玉）をもらうのが楽しみでした。ふだんは、お金をもらうことなどなかったので、「やせうま」をもらうと、早速、お店にアメ玉やメンコを買いに行つたものです。

今思うと懐しいことばかりで昔のようなお正月は今ではなくなか迎えられません。そうした楽しいお正月を迎えることができたのも、祖父、祖母、父、母のおかげで、ほんとうに感謝の気持ちでいっぱいです。

故郷の寒さもますます厳しくなりますが、みなさまも元気で頑張ってください。

(お住い) ▼ 東京都北区東田端

2
の
4
の
2
)

手芸講習会

端切れを利用して、美しい「パッチワーク」を作ります。

日時 1月23日(木)

午前10時から午後3時まで。

会場 有鄰館婦人研修室
講師 渡辺シメ（下小路）

情報ツナ

主催 町連合婦人会
ハンカチ版大の端切れ10枚程度と、昼食を持参ください。

本莊准看學院
生徒募集

募集人員	30名
修業年限	2か年（61年4月）

真冬日のある日、部落巡回にでかけると訪れた庭先には鉢植の小菊が雪にいつそう鮮かに映っておりました。「おはようございます。一年ぶりで来ました。おじいちゃん元気ですか」と声をかけると、いつもの笑顔と元気な姿で「おはあちゃんができました。話題豊富で、ふだんの生活にも工夫を凝らしているおばあちゃんは、さっそく思い出しでもおかしそうに話しはじめなのです。会社勤めの母さんから、今日の健康相談の世話を頼まれたが、ちょうどみそ汁を口に含んでおり返事が

巡回先の陽気なおばあちゃん

できずにいると、心配した母さんが居間をのぞいてその訳を知り、二人で大笑いしたとか――。長年身体の不自由なおじいちゃんの操縦にも年季がはいっているようで、雨の中おばあちゃんが畑仕事をしていると、傘をさして見守るおじいちゃん。『転ばないかな寒くないかな』と心配しつつ外に關心を示すおじいちゃんを喜ぶおばあちゃん。

おじいちゃんが退院するときに、お医者さんや看護婦さんから「おじいちゃんが早く良くなったのは、おばあちゃんの陽気な看護のおかげですよ。」とほめられたこともあるとか――。近所の誰からも親しまれている陽気なおばあちゃん、今、ほのぼのとした友情に支えられ全身に幸せが満ち溢れているようです。そして、家族もそんなおばあちゃんと明るく健康な毎日を過ごされているように思えました。

（保健婦・伊東）

お元気ですか
保健婦です

⑪

さわやか 君

西村 宗



梅津 千代松さん

ちよまつ

明治35年4月20日生・83歳

リッさん

明治38年4月5日生・80歳

大琴・結婚歴61年

金婚さん
いらしゃい

昨年ダイヤモンド婚を迎えた、梅津さんご夫妻。「息子たちが、ダイヤモンドの指輪や掛軸を贈って祝福してくれた」と、その時の感激をうれしそうに話してくれました。昨年まで実に17年もの間、町老人クラブ連合会長を務めた千代松さんは、20歳のころからの毎日の出来事をすべて記しており、「いずれ、まとめて子孫に残したい」と話していました。妻のリッさんも畑仕事に精を出すほどの元気ぶりで、かつて宿地区初代婦人会長や連合婦人会長を務めたことも、読書が老化防止の最大の妙薬と話すお二人、いつまでもお元気で…

今月の催し

- 6日・消防出初式(八塩小)
- 7日・住吉・老方分館町政座談会
- 8日・蔵分館町政座談会
- 8日・全県ミニバス大会(八塩小出場・県立体育館)
- 9日・高齢者と子どもの集い(大琴小)
- 10日・乳児検診(有隣館)
- 13日・雪ん子ふれ合いの集い(有隣館・東中)
- 22日・麻しん・風しん(有隣館)
- 23日・宿、袖山地区栄養改善講習会
- 27日・母親学級(有隣館)
- 27日・農業委員会
- 28日・4か月児クリニック(保健所)
- 29日・1歳6か月健診(有隣館)
- 30日・蔵地区栄養改善講習会

*ありがとう

●香典返しに替え、小野寺勝蔵さん(板戸)、大庭忠幸さん(舟木)長谷山アイ子さん(地下の沢)、小松栄志さん(宇戸坂)から金一

封が町社会福祉協議会に届けられました。
●畠山圭司さん(老方出身・東京都在住)から「PHP」(61年購読分)が町公民館図書室に寄贈されました。
ありがとうございました。

海外移住(南米)

農業研修生募集

募集人員 35人

資格 18歳から30歳までの心身ともに健康な男子。

研修内容 外国語や農学の学習などを民宿して行う。(南米)

研修期間 61年4月から62年3月までの1年間。

から63年3月まで)

応募資格 中学校卒業(今年度卒含)者など。

願書受付 1月13日(月)から2月15日(土)まで。(平日は9時～16時・土曜日は9時～11時)

詳しいことは、本荘市由利郡医師会立本荘看護学院(本荘市出戸町字堤脇30・☎22-0054か6031)まで。

漏電ブレーカーは

ついていませんか

漏電ブレーカーの取付けは、火災や感電事故防止のため義務付けられています。まだ付いていない住宅にお住みの方は早速取付けされるようお奨めします。なお、本荘市由利電気工事協同組合では、サービス価格で屋内配線近代化を進めています。屋内配線で危ない所や不便で電気を使えない所がある場合は、もよりの電気店にご相談ください。

経費 食費、教材費、教習費、研修見学費、自治会費等経費のうち12万円を自己負担。

応募締切 61年2月末日

詳しくは国際協力事業団東北支部☎0222-235151へ。



郷土の野草

⑩

アマチャヅル (ウリ科)

スギ林の下草で本町でも、あちこちに見られます。葉は五小葉の鳥の足あとのような形をしています。茎は蔓になって長くのび、巻きひげで他の植物にまきついてのびます。秋に黄緑色の小花をつけ、やがて黒緑色の実をつけます。根を残して採集すると年に数回収穫できます。よく水洗いして陰ぼし

にし、煎じて服用します。甘い味があるのでこの名があります。このものは若干苦味があります。健胃、疲労回復、体力増強などの効果があります。(小松忠正)



東由利の今昔物語



昔

モンペがスキーウェア

ほとんどが手作りスキー



今

昭和初期のスキーはほとんどが手作りで、山から採ってきたイタヤの木を苦労して削ったものでした。

写真(上)の、兄弟が覆っている金具と皮バンド付のスキーは、当時としては大変高価で、かたんに手にすることはできなかったようです。もちろんスキーウェアなどというものはなく、子どもたちはモンペに前かけ姿で、寒さも気にせずにスキーを楽しみました。

今日では、色鮮やかなスキーウェアの子どもたちが、滑りもあざやかにスキーを楽しんでいます。

広報ひがしゆり三七〇号

昭和六十一年一月一日発行

印刷・KK本間印刷所

町の統計 12月 (1/1 ~ 11/30)

- | | |
|------------------|---------------|
| ●人口 () 内は前月と比較 | () 内は1月からの累計 |
| ・男 3,029人 (△6) | ●出生 5人 (55) |
| ・女 3,111人 (△6) | ●死亡 4人 (51) |
| ・計 6,140人 (△12) | ●結婚 1組 (16) |
| ●世帯数 1,424世帯 (1) | ●離婚 一組 (3) |
-
- | | |
|--------------------|-----------------|
| ●ゴミ処理量 | 30 t (394) |
| ●火災発生件数 | 0 件 (5) |
| ●救急車出動回数 | 4 件 (82) |
| ●交通事故 | 0 件 (13) |
| ●交通死亡事故「0」継続日数 | 1,994日 |
| ●総合開発センター「有隣館」利用者数 | 5,272人 (20,571) |
| ●老人いこいの家「朋楽荘」利用者数 | 4,421人 (9,345) |

戸籍の窓口

(11/21 ~ 12/20) 届出・敬称略

うぶ声



佐藤 有紀 (男) 秀夫・長女 新町
長谷山 善幸 (男) 満・長男 山崎
小松 明日香 (女) 博・長女 板戸
佐藤 大 (男) 芳雄・長男 時雨山
小松 優介 (男) 公寿・長男 湯出野

結婚

(佐藤 吉和 中通
佐藤 ムツ子 雄物川町)



おくやみ



長谷山 ナヲ (80 アイ子・義母) 地下の沢
藤原 政一 (57 ムツヨ・夫) 下小路
小松 誠太郎 (81 榮志・父) 宇戸坂

町民の声を町政に!

町長の面会日今月は20日